

令和7年度 第3回図書館協議会

資料1

令和7年12月26日(金)

柏市立図書館

次 第

- 1 開会
- 2 部長挨拶
- 3 令和7年度中間事業報告
- 4 『柏市図書館のあり方』の実現に向けた図書館再編構想の策定に向けて
- 5 閉会

目 次

1	柏市立図書館協議会委員名簿	1
2	柏市教育委員会 出席職員名簿	2
3	令和7年度中間事業報告	3
4	『柏市図書館のあり方』の実現に向けた図書館再編構想の策定に向けて	6

1. 柏市立図書館協議会委員名簿

令和7年7月1日現在

番号	選出区分	氏名	職等	役職
1	学校教育 関係者	岩田 久美 いわた くみ	光ヶ丘小学校長	
2	〃	小川 優子 おがわ ゆうこ	柏市学校図書館コーディネーター	
3	社会教育 関係者	勝川 東 かつかわ ひがし	折紙作家	
4	〃	高田 竜成 たかだ りゅうせい	芝浦工業大学大学院生	
5	〃	高橋 史成 たかはし ふみなり	社会福祉法人柏市社会福祉協議会 地域福祉課長	
6	〃	橋田 慈子 はしだ なりこ	千葉大学助教	
7	〃	早川 沙希子 はやかわ さきこ	教育系出版社編集部	
8	家庭教育の向上 に資する活動を行 う者	八山 美里 はちやま みさと	合同会社 EDGE HAUS 奥手賀ツーリズム チーフディレクター	
9	学識経験者	笹尾 知世 ささお ともよ	麗澤大学准教授	
10	〃	佐々木 秀彦 ささき ひでひこ	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課長	
11	その他	海老原 竜司 えびはら りょうじ	公募委員	
12	〃	本間 明 ほんま あき	公募委員	

(敬称略)

任期：令和7年7月1日から令和9年6月30日まで

2. 柏市教育委員会 出席職員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	生涯学習部	部 長	宮本 さなえ
2	図書館	館 長	森川 曜生
3	〃	統括リーダー	芦澤 慎二
4	〃	副主幹	大野 真奈
5	〃	主 査	福馬 真弓子
6	〃	主 査	中山 祐樹
7	〃	主 査	宮脇 和
8	〃	主 事	五十嵐 理文
9	〃	主 事	三石 瑠奈
10	生涯学習課	課 長	田中 義通
11	中央公民館	館 長	村山 勝利
12	文化課	課 長	吉田 敬

3. 令和7年度中間事業報告

1 システムリプレイス

令和7年10月20日（月）～11月3日（月・祝）にかけて図書館システムリプレイスを実施しました。リプレイスにより、オンラインでの未所蔵資料へのリクエスト受付を新たに開始したり、館内設置の蔵書検索機のリニューアルなど、利用者にとっての利便性の向上を図りました。

2 沼南分館閉館に伴う一時移設

令和7年7月の移転開館時に配架できなかった資料約2,000点について、リプレイス期間中に各分館に移籍、特別配置（配架）を行いました。引き続き、蔵書数が少ない中でも蔵書バランスを考えた配架を心掛けていきます。

3 図書館人材育成方針（骨子）の策定

従来の図書館サービスに関する知識や技能にとどまらない、新しい価値観を持ち、魅力あるこれから図書館を担う人材を育成するため、まずはスペシャリスト育成制度*「図書館人材コース」の新設について、庁内の関係部署と協議を行いました。

しかしながら、柏市は専任制度を導入しておらず、図書館以外の異動先が限定されることなどが課題となることが明らかになりました。図書館としては、中央図書館の整備検討が始まることもあり、ますます人材育成が重要となることからも、人材育成に資する様々な取組や育成方針の骨子作成に引き続き取り組みます。

*スペシャリスト育成制度とは…

専門性の高い知見を生かすべく、専門的知識の伝承や職員のキャリア形成を踏まえ、令和7年度から新設された人事制度。従来の複線型人事制度での、専門職の長期在課による業務の属人化を改めるため、特定の分野内で複数の異動先を明示する。

4 読書バリアフリー計画

計画策定の参考に、障害福祉課担当者と情報共有を行いました。また、読書バリアフリーに関する外部研修等を受講し、情報収集を行っています。さらに、関係者へのヒアリングを予定しています。

5 展示

府内各課と連携して、「自殺予防週間」「健康増進普及週間」等の啓発のため、企画展示を実施しました。このほかにも、「デフリンピック」の開催に合わせて関連書籍の展示を実施したり、プラネタリム特別投影「ウクライナの星空」の開催に関連した書籍の展示を実施するなど、図書館来館者に興味や関心を持っていただけるテーマを意識しながら計画を立て実施しています。

6 子ども

(1) デジタル教材の学校現場での更なる活用促進

学校教育部指導課にデジタル教材の学校現場での更なる活用を依頼し、学校図書館指導員研修会の場で、指導課から各学校の学校図書館指導員へ、デジタル教材について情報提供がなされたところです。図書館としても引き続き、地域資料としてのデジタル教材が学校現場で活用されるよう努めてまいります。

(2) 令和7年度市内中学生ビブリオバトルに関する企画展示（10・11月）

令和7年10月19日（日）「市内中学生ビブリオバトル（知的書評合戦）」の出場者のおすすめ本を展示しました。



○期間 TeToTe 5階 中高生の広場：10月23日から10月29日まで
TeToTe 4階 本の広場：10月30日から11月 6日まで
本館：11月 7日から11月27日まで

*TeToTeは決勝進出者5名、本館は全出場者21名のおすすめ本を展示。

(3) まちたんけん・職場体験の受入れ

令和7年11月までに、中学生の「職場体験」を2件、小学2年生の授業で行われる「町たんけん」を10件、その他による見学・職場体験（職場実習含む）6件を、本館や分館で受け入れました。

(4) 調べる学習コンクール受賞作品を展示（12月）

令和7年12月2日（火）から12月17日（水）まで、本館で「第8回柏市図書館を使った調べる学習コンクール」の各受賞作品を展示しました。



(5) 柏市立柏高校「冬のおはなし会」

令和7年12月20日（土）に、本館で「冬のおはなし会」の開催を予定しています。柏市立柏高等学校の生徒も出演予定です。

(6) はぐはぐフォーラム2026（2月）

令和8年2月15日（日），ラコルタ柏にて開催される「はぐはぐフォーラム2026」にブックスタートボランティアが参加します。ビッグブックでの読み聞かせのほか、歴代の選定絵本の展示を実施し、ブックスタート事業を知ってもらうとともに親子が本に親しむきっかけとします。

7 つながり

(1) 「本×キュレーションの可能性」（10月）

令和7年10月9日（木）から10月15日（水）にラコルタ柏で開催された「本×キュレーションの可能性」（主催：中央公民館）に協力し、展示する本を図書館から貸し出しました。

(2) 柏プラネタリウム特別投影（11月）

令和7年11月29日（土）にウクライナ出身のプラネタリウム解説員オレナ・ゼムリヤチェンコ氏による特別投影を開催。当日は、柏の星空とウクライナの星空を紹介し、両地域の文化の違いを感じていただける内容となりました。

(3) 本でつながる講演会&大人のビブリオバトル（3月）

令和8年3月7日（土），ラコルタ柏にて「本でつながる講演会&大人のビブリオバトル」を開催します。柏のまちと図書館を考えるミライ会議及び中央公民館との共催で行われるこのイベントでは、講演会のほか、市民参加型の大人のビブリオバトルを実施し、市民との交流を図ります。

8 地域

令和7年10月に「戸張遺跡群」をテーマとした地域情報コーナーを新田原分館に設置しました。現在は、高田分館に「大堀川」をテーマとした地域情報コーナーを設置するため準備を進めているところです。



4. 『柏市図書館のあり方』の実現に向けた

図書館再編構想の策定に向けて

1 資料「『柏市図書館のあり方』の実現に向けた柏市図書館再編構想の策定方針（案）」について（資料2）

- 柏の葉近隣センター及び沼南近隣センターの整備、柏駅周辺における中央図書館の整備検討を進めるにあたり、市全体の図書館網についても整理していく必要があります。これらを「柏市図書館再編構想」として、令和8年度に策定することを検討しています。
- この再編構想は、『柏市図書館のあり方』が描く図書館の将来像を継承・発展させるものと考えています。
- 策定にあたっては、市の考え方＝策定方針を示した上で、広く市民の意見を伺うことを考えています。協議会に提出する方針（案）は、「柏市図書館のあり方」や総合計画等の各種計画、および本協議会での意見を整理した内容としています。
- 本日は、この方針（案）について、委員の皆様からお一人ずつご意見やご感想をいただき、必要に応じて修正を加えた上で、策定方針として公表する予定です。
- 周知用に、ポイントを整理した市民向けの概要版類を作成することも検討します。

2 図書館再編の基本的な考え方

（1）図書館全体

- 「みんなの居場所」になる図書館へ
- 誰もが訪れやすい・訪れたくなる空間として、様々な学びや使い方をしたくなる

（2）本館

- 市民の文化的活動を支え、交流や新たな価値を生み出す拠点とする
- アクセス性の良い柏駅周辺に整備し、所蔵資料を集中的に配架
- 市民一人ひとりの楽しみ、学び、課題の解決を支え、可能性を広げる
- 地元を知り、発見することで、地域の個性を輝かせる
- 「静」の空間と「動」の空間

→市民の「知りたい」「学びたい」というニーズに応え、知と創造が行き交う場に

(3) 分館

地域の「つながりの場」とする
→貸出サービスが中心
→資料を配架している空間を、来館者が居心地良く過ごせ、本を読むこと以外にも様々な過ごし方ができる場所に機能転換

(4) 図書館網の再構築

拠点館の必要性
→柏の葉近隣センター・沼南近隣センターに拠点館を設置し、一定量の資料配架や座席数を確保

(5) その他（バリアフリーとICTの活用）

→バリアフリーに配慮し、ICTの導入・活用を推進

3 市民への周知方法

○令和8年1月下旬を目途に、柏市公式ホームページ、SNSのほか、図書館の情報発信ペーパー『かしわストーリー』を活用した「市民共有版」の配布を予定しています。